

授業科目 認知症の理解 I

【担当教員名】 大槻 美智子		対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	○
【一般目標：GI0】 ・認知症ケアの変遷と現状を理解し、認知症に関する基礎的な知識と対応方法の基本を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1) 認知症ケアの歴史と現状を知る。 2) 認知症支援策の現状と政策的方針を理解できる。 3) 認知症の原因疾患と主な症状および脳機能との関係を理解できる。 4) 認知症の鑑別、検査、診断、治療方法について知る。 5) 認知症の行動・心理症状を理解する。 6) 認知症の症状に対する対応方法を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	認知症ケアの歴史と現状	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
2	認知症高齢者への対策と制度	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
3	諸外国の認知症ケア	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
4	老化と脳の変化	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
5	認知症をきたす疾患 1	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
6	認知症をきたす疾患 2	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
7	認知症をきたす疾患 3	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
8	認知症の検査と診断	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
9	認知症の治療と予防	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
10	認知症の人の行動・心理症状 1	3.4.5.6	講義、担当：大槻 美智子		
11	認知症の人の行動・心理症状 2	3.4.5.6	講義、担当：大槻 美智子		
12	認知症の人の行動・心理症状（BPSD）への対応 1	3.4.5.6.	講義、担当：大槻 美智子		
13	認知症介護の原則と基本ケア	5.6	講義、担当：大槻 美智子		
14	事例検討：認知症ケア生活援助を考える	5.6	講義・演習、担当：大槻 美智子		
15	まとめ		講義、担当：大槻 美智子		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		介護福祉士養成テキスト			
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・試験 90%・レポート 10%等から総合的に判断する。		【履修上の留意点】 資料は配布する、できるだけ事前・事後の自己学習に心がけて欲しい			